

第1回 社会保険未加入対策推進協議会（概要）

1. 開催日時等

平成24年5月29日（火） 15：30～17：00

於 合同庁舎3号館10階共用会議室

2. 参加者

蟹澤教授（芝浦工業大学）、建設業者団体73団体、その他関係団体14団体、厚生労働省職業安定局、同省労働基準局、同省年金局、同省保険局、国土交通省土地・建設産業局 等

3. 議事概要

（1）社会保険未加入対策の全体像に関する説明

- ・事務局より、現在推進している社会保険未加入対策の概要や社会保険未加入対策推進協議会（以下「推進協議会」という。）の設立趣旨について説明[資料1]。

（2）推進協議会の規約承認・会長等の決定

- ・推進協議会の規約案を満場一致で承認[資料2]。
- ・会長に芝浦工業大学の蟹澤教授を選出。
- ・副会長として、東京大学の水町教授（会長代行）、（社）日本建設業連合会、（一社）全国建設業協会、（社）建設産業専門団体連合会を会長より指名。

（3）社会保険未加入対策に関する各種方策の説明

社会保険未加入対策の推進に向けた次の各種方策について事務局より説明。

- ・推進協議会参加団体における社会保険加入促進計画の策定についての枠組み案[資料3]
- ・行政機関における実施計画[資料4]
- ・専門工事業団体における法定福利費の標準見積りの明示[資料5]
- ・地方における推進協議会の開催[資料6]
- ・周知啓発のための資料案[資料7]

(4) 社会保険加入促進計画の策定例の発表

- ・(社)日本建設業連合会より、同連合会が4月に策定した社会保険加入促進計画をプレゼンテーション[資料8]。

(5) 意見交換

参加した関係団体代表より質疑のほか、次のような意見があった。

- ・前向きに対応するが、我々としては発注者・元請から法定福利費を確保する必要がある。法定福利費の確保に向け、前向きな対応をお願いしたい。法定福利費が費用一式の中に隠れてしまうと困るので、しっかりとした対応をお願いしたい((社)日本建設大工工事業協会)。
- ・既にパンドラの箱は開いており、社会保険未加入対策を進めるしか生き残る道は無い。取組を是非とも成功させたい。そのためにも、法定福利費の真水をきちんと確保する必要がある。発注者や総合工事業団体、そして我々専門工事業団体が労働者に至るまで費用を流して行く必要がある((社)全国鉄筋工事業協会)。
- ・推進協議会の発足により建設産業が一体となって進められるようになる。保険加入に関する実態調査を行ったところ、本来であればやらなければならないことをやっていないという実態が浮かび上がってくる。非常に大変なことではあるが、本来は義務である社会保険への加入を徹底し、業界にも周知していきたい((一社)日本塗装工業会)。

(6) 推進協議会における申し合わせ

- ・行政、元請団体、下請団体等の関係者が一丸となって社会保険未加入対策を推進するため、「社会保険未加入対策の推進に関する申し合わせ」を採択した[資料9]。

(以上)